

第2回「一級河川堂島川（旧淀川）鉾流橋ライトアップ設計等業務」事業者選定委員会 議 事 要 旨

1. 日時及び場所

○プレゼンテーション審査

平成26年7月1日（火曜日）13時00分から16時30分まで
大阪府咲州庁舎37F 特別会議室

2. 審査方法

あらかじめ定められた審査基準（公募実施要項に記載）に基づき、4名の選定委員がプレゼンテーション審査を行い、1,000点満点で総合評価を行った。

3. 審査対象者（応募者）

（受付順）

- 小寺・スタイルマテックグループ
- パナソニックESエンジニアリング(株)近畿支店
- 岩崎電気(株)大阪営業所

4. 議事概要

- ・審査方法及び審査基準の確認
（総合評価点が600点に満たない場合は採択しない旨、委員相互に確認）
- ・企画提案内容について、各提案者が15分間のプレゼンテーションを実施。その後、選定委員から質疑応答を実施。

○主な質問の内容

- ・既存橋上ポール灯について
リニューアルの場合、デザイン・構造・照度等どのような考えか。
撤去の場合、照度確保をどのように考えるか。
- ・桁ライトアップの色彩調整について
- ・桁下ライトアップの演出について
- ・昼間の景観への配慮について
- ・橋の歴史性及び物語性について
- ・施工の実現性について
- ・感潮河川の水しぶきによる腐食等への対応について

○審査の結果

①最優秀提案事業者 小寺・スタイルマテックグループ

評価点 757点（うち品質点 703点、価格点 54点）、提案価格 5,550,000円(税抜)

②全提案事業者の評価点（得点順、応募者順不同）

757点（再掲）、750点、724点

③最優秀提案事業者の選定理由

- ・鉾流橋周辺の地域性、歴史性、及び近隣神宮等に関する物語性を考慮し、鉾流橋の夜間景観における役割を理解した優れた提案であった。

- 周辺の光景観との調和についても十分配慮された提案であった。
- 既存照明の漏れ光を整理した提案であった。
- 環境に配慮した技術を積極的に取り入れた提案であった。

(審査委員会からの修正意見)

- 本提案は、昼間の景観に関して問題があり、特に橋上の街路灯の意匠、アーチ・ボルト部の意匠と照明器具の取り付け詳細など再検討が必要である。
- 橋上の街路灯に関しては、専門家の意見を踏まえて、橋の意匠にあった修正を求める。(撤去案も含める)

5. 選定委員会委員 (敬称略、順不同)

所属・職名等	フリガナ氏名	備考
大阪府立大学 21世紀科学研究機構 教授	ハシツメ シンヤ 橋 爪 紳也	都市文化や都市景観等の専門家であり、水都大阪のまちづくりに関して識見を有している。「水と光の首都大阪」の実現に向けた提案になっているか全体的な視点から審議いただく。
京都大学大学院 工学研究科 准教授	クボタ ヨシアキ 久保田 善明	都市景観や環境デザイン等の専門家であり、自治体の景観づくりに関して活躍されている。特に橋梁設計の専門家であるとともに、公共空間デザインのマネジメントに関して識見を有しているため、都市の魅力を引き立てる提案となっているか審議いただく。
(株)LPA (Lighting Planners Associates) 取締役	タナカ ケンタロウ 田中 謙太郎	国際照明デザイン等に関して多数受賞されている照明デザイナー。景観照明に関する識見や、大阪の夜間景観づくりに対する理解を有しており、主にライトアップデザインについて審議いただく。
大阪商工会議所 地域振興部長	ヨシダ ユタカ 吉田 豊	選考過程の公平・公正性を確保するため。また、大阪のにぎわい創出による経済活性化に精通しているため、大阪のにぎわいづくりに関する視点から審議いただく。